

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スポーツ推進事業			事業番号	008-091
担当部署名	文化観光局	局	スポーツ	部	スポーツ推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）		
		寄与するKPI	有	現状値	23.7%(2017年度)	目標値	50.0%(2025年度)
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
		寄与するKPI	有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進		
			有・無	指標名	健康寿命		
			有	現状値	男性：71.46年、女性：73.60年(2016年度)	目標値	男性：73.20年、女性：76.20年(2023年)

2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン		
3	事業開始年度	昭和 22 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、スポーツ推進委員(約120人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>①総合型地域スポーツクラブ 既存クラブへの財政支援及び主催イベントへの講師派遣協力を実施。</p> <p>②堺市民オリンピック 市民スポーツの祭典として、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図ることを目的に、毎年スポーツの日に実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止し、代替イベントとして、小学生を対象にトップレベルチーム指導による競技体験ができる「小学生ドリムスクール」を令和2年11月29日（日）に実施。</p> <p>③トップレベルチームとの連携 堺プレイヤーズ、オリックスバファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団や総合型地域スポーツクラブ、地域団体が実施するスポーツ教室に講師を派遣。また、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供するため、各チームの公式戦において、市民優待観戦企画を実施。</p> <p>④スポーツ推進委員 地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っており、その資質向上を図るため、各種研修や主催大会を実施。</p> <p>※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載</p>
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(公財) 堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 堺市民オリンピック参加者数 (代替イベント参加者数)	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
		実績値	6,017	209		
		達成率	86%	3%		
当該指標を選定した理由		スポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため（なお、令和2年度は代替イベントである小学生ドリムスクールの参加者数を記載（募集定員200人、参加申込数1,516人））				
目標値の設定根拠・算出方法		市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 総合型地域スポーツクラブ会員数 (設立準備団体含む)	人	目標値	500	500	700	
		実績値	397	402		
		達成率	79%	80%		
当該指標を選定した理由		幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため				
目標値の設定根拠・算出方法		各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ100人の会員獲得を目標とする。（7クラブ×100人）				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	85,447	113,021	75,805	51,181	80,120	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金）	8,080	42,365	6,240	1,696	33,564
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	77,367	70,656	69,565	49,485	46,556	
14 人件費 (b)	27,600	24,300	24,600	24,600	28,800	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	113,047	137,321	100,405	75,781	108,920	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	R2	決算	35,835	35,835	（公財）堺市教育スポーツ振興事業団補助金	R2	決算	439	439	
		予算	31,624	31,624			R3	予算	3,164	164
	R2	決算	0	0	堺市民オリンピック開催負担金（コロナ対策費含む）	R2		決算	0	0
		予算	16,220	0			R3	予算	2,000	2,000
	R2	決算	1,696	0	総合型地域スポーツクラブ補助金	R2		決算	448	448
		予算	7,344	0			R3	予算	1,888	1,888
	R2	決算	7,000	7,000	広告料（梓）	R2		決算	1,792	1,792
		予算	7,000	0			R3	予算	1,824	1,824
	R2	決算	1,420	1,420	堺市スポーツ協会事業補助金	R2		決算	2,551	2,551
		予算	3,303	3,303			R3	予算	5,753	5,753
						その他報償費（梓）				
					新大浜体育館魅力創出事業負担金					
					堺市スポーツ競技大会補助金					
					スポーツ推進委員報酬					
					その他負担金等					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		令和元年度	令和2年度
① 市民オリンピック参加者数（代替イベント参加者数）	人	6,017	209
② 上記①にかかる年間経費	千円	12,000	847
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,994	4,053
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度堺市民オリンピックが中止となったため、代替イベントとして、「小学生ドリームスクール」を開催することとなった募集定員200人に対し、1,516人の参加申込があり（倍率7.58倍）、コロナ禍においてもスポーツへのニーズが高いことが示された。</p> <p>令和3年度以降の堺市民オリンピックについては、「市内全校区が一堂に会する」というメリットを活かしつつ、市民オリンピックがスポーツや運動に新たに取り組むきっかけとなるような魅力的な大会となるよう、堺市民オリンピック委員会等関係団体と検討を進める。</p> <p>令和2年度は代替イベントを参加人数を絞って実施したため、単位当たりの経費としては例年の2倍程度となった。令和3年度以降の堺市民オリンピック開催に際しては、参加者数の増加に向けた取り組み及び必要経費の精査を行い、単位当たり経費の改善を図る。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>①総合型地域スポーツクラブ 総合型地域スポーツクラブは、市民に身近な地域で様々なスポーツ体験を提供するクラブであり、身近な地域でスポーツを継続的に楽しめる環境を整備することで、「市民のスポーツ・運動習慣の定着」に効果的である。各クラブでは、市民に身近な学校施設や自治会館などでダンスや体操など参加しやすい様々なプログラムが実施されており、今後も新たなクラブの設立や既存クラブへの加入促進、指導者の育成、自立支援などの取り組みを行う。</p> <p>②堺市民オリンピック（代替イベント含む） 市内全校区が一堂に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、大会への参加が市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものである。本大会が「参加したい」と思われるような魅力的な大会になるよう時勢に合わせた見直しを進める。 令和2年度に市民オリンピック代替イベントとして開催した「小学生ドリームスクール」は参加申込者の約80%が未経験であったが、参加満足度が約98.5%と非常に高く、子どもたちが新たにスポーツに親しみきっかけを作ることができた。</p> <p>③トップレベルチームとの連携 令和2年度は、新たな取組みとして、くらす寿スタジアム堺でオリックス・バファローズのファーム公式戦を誘致・開催した。市民優待企画の実施などの観戦機会の提供やスポーツ教室の実施により、市民のスポーツへの関心を高め、自らもスポーツを始めるきっかけを提供することは、「市民のスポーツ・運動習慣の定着」に有効であり、今後もトップレベルチームとの連携を密にし、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。</p>
----	---